

インタビュー①

現在、介護研修の講師として活躍している講師の声を紹介します！

いつまでも若々しく活動的に生活するには、思い切って新しい世界に飛び込むことが大切です。

ニチイ学館 中国研修統括課（札幌支店 駐在）
徳安 政子さん（介護福祉士）
1990年入社



簡単な経歴と、中国で介護研修の講師として働こうと思ったきっかけを教えてください

私は1990年にニチイに入社し、始めは医療事務員として働いていました。その後、介護保険制度が始まる前に介護に関連する部署に異動となり、そこから介護拠点の立ち上げや、拠点の管理業務の経験を経て、札幌支店で介護の講座を教える講師となりました。

その後、中国で講師業務をやらないかと会社から声をかけて頂き、中国でのお仕事を決意しました。2013年に初めて北京で研修を実施し、現在5年目になりますが北京の他、上海・広州と色々な場所で研修を実施してきました。

中国に関わる仕事をしようと決意したきっかけは、長いキャリアの中で様々な経験を積んできましたが、「海外で働くことができる」という魅力と、何よりも背中を押してくれた夫がいたからです。数ヶ月も家を空けることになるので、反対されるかと思いましたが「せっかく声をかけて頂いたのだからやっごらん」と応援してくれました。



講師の仕事の魅力や、仕事を行う上で心がけていることについて聞かせてください

中国現地の受講生とたくさんの繋がりができることです。どの研修も思い出がありますが、教えた受講生が立派な講師となって研修を行なっている姿をみると最高に感動します。いつまでも私の事を「先生」と慕ってくれることも嬉しいです。私の受け持った受講生の中には、もっと勉強をしたいと日本の福祉大学に留学した方もいました。こうして日本の介護の理念のすばらしさを理解してもらったり、熱心に受講してくれる姿勢は講師にとって励みになります。初めて中国で研修を行なった時は、不安と期待が半々でしたが、新しいことが好きな私にとってはワクワクする気持ちのほうが大きかったです。

正直な話、中国で仕事していると日本が恋しくなることもあります。日本に戻るとすぐに次の渡航が待ち遠しくなります。

心がけていることとしては、異国の地での仕事になるので健康面の管理は徹底するようにしています。あとは、通訳の方としっかり連携を取ることです。優秀な通訳さんがいますが、通訳の方との事前のコミュニケーションは研修を成功させる上での鍵となります。



介護研修の講師のお仕事を検討している方にメッセージをお願いします

新しいことにチャレンジしたり、知らない世界を知ることは大きな成長と喜びに繋がります。いつまでも若々しく活動的に生活するには、思い切って新しい世界に飛び込むことが大切です。先輩講師たちがあなたを優しくアドバイスするので、応募をお待ちしています。

※講師の情報は取材当時のものです。

興味をお持ちの方は、お気軽にお問い合わせください！

お問い合わせ先

ニチイ学館 中国事業部 中国研修統括課

電話番号：03-3291-5675

〔受付時間〕 月曜日～金曜日 9時～17時15分 ※祝祭日は除く

メールアドレス：chi-kenshuu1@nichiigakkan.co.jp

住所：東京都千代田区神田駿河台2-9